

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月13日に総務文教分科会を開催しました。

議案第21号 平成26年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で**可決**すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：電子入札共同利用の経費はランニング費用で毎年のことなのか、イニシャルコストを按分して払うのか。入札の件数、回数に比例して発生するのか。また、電子入札がいつごろスタートしたのか。

答：14市町が加入している。平成23年12月から導入している。負担金の額はシステムの構築費、システムの改修費、ハード・ソフト面のリース代も含めた金額を平成25年から平成30年の6年間で割ったものである。均等割と人口割で構成されている。入札件数の多い少ないは関係ない。

問：市制施行10周年記念行事はどのような計画なのか。

答：記念式典を予定しており、市政功労者への表彰状と感謝状の贈呈、市政10年の歩みを振り返る催し、アトラクションとして市民団体の演奏等を今の段階では考えている。詳細は実行委員会の立ち上げ後になる。

問：滞納金の回収を税整理組合へ委託しているが、なかなか実績が上がりにくくなっているのではないかと思う。562万4千円の負担金をかけてメリットはどうか。最近の傾向はどうなっているのか。また、具体的な運用方法はどうか。

答：最近の傾向は平成23年度は2,200万円の徴収で470万円の負担金、平成24年度は1,660万円の徴収に対して368万円の負担金、平成25年度の最新の状況では6,460万円の徴収金に対して720万円の負担金を支払う予定になっている。市内には4,800件の滞納があり、職員6人で手分けして1件ずつ当たっており、分納が滞っている者や滞納金額が多い者等の財産調査をかけ、財産がある者について税整理組合へ引き継いでいる。税整理組合は財産調査の結果に基づいて差し押さえをして滞納整理をする仕組みである。去年の7月から1人派遣会社から雇い、事細かく財産の状況を調査しているので今年は3倍の実績を上げている。

問：雪舟が1420年に生まれ、もう少しすると生誕600年になる。雪舟を盛り上げていくには、雪舟公園は造らなければならないと思う。是非とも計画を持ってお願いしたい。

答：事業の必要性は認識しているが財政的な問題もあり実現できていない。生誕600年まであとわずかであり、考える時期の一つではあるが、しばらく状況を見ながらこういった整備が可能か考えていかなければならない。

問：情報管理費が何億という金額が減額されている。理由は何か。

答：平成 24 年度、平成 25 年度で新しい基幹システムを導入した。導入が終了したため約 7,000 万円が減額になった。また、平成 25 年は新システムと旧システムの両方の保守委託料が必要だったが、26 年度は旧システムの保守委託料が不要になったことにより約 5,000 万円が減額になり合わせて 1 億 2000 万円の減額になった。

問：健康管理について悩んでいる職員もいると聞いている。平成 26 年度は具体的にどのような計画があるのか。

答：健康診断は定期的実施している。役務費の手数料に職員の健康診断に関する費用は計上している。メンタルについては、専門のカウンセラーをお願いして月 1 回継続的にやっていきたい。さらに総務課の保健師が気付いたときに職員に個別に声を掛けるなどの手当てをしている。万が一メンタルに陥った場合には、総務課職員が本人又は主治医と面談をさせていただき、早期復帰できるようなお手伝いもさせていただいている。

問：平成 26 年度から新しい総合計画の準備をされると思うが、市民へのアンケートは市民の意見をよく聞いてされたらどうかと思う。

答：市民ニーズの意見聴取を十分やっていきたい。市民アンケート調査のほか団体への懇談会も開催し意見聴取をしてニーズを把握して策定を進めていきたい。

問：情報管理費の備品購入費は何か新しく購入するものがあるのか。

答：PC やネットワークサーバー等の機器の更新の経費である。

問：一般管理費の嘱託員報酬の内容は何か。一人当たりの単価、出勤日数はどうか。

答：産業医の報酬であり、常時 50 人以上の従業員を抱えている事業所では職員の健康管理のために産業医を選任しなければならないことになっている 月額 36,000 円を予定しており、12 か月分である。

問：美術館・博物館建設のための積立金をどのように検討されたのか。平成 26 年度予算には見受けられないが考え方はどうなのか。基金を新たに作るには基金条例の制定の必要だったりする。美術館・博物館の建設に向けて姿勢を見せてほしい。

答：庁舎等整備事業基金があり決算剰余金の 10 分の 1 を積み立てている。個別基金をたくさん作るより、既存の基金を活用できればという考えである。金額については決算の状況によって検討して行く。

問：町内会への広報紙を配布する報償費は将来的に一括交付金へ入れて行く可能性があるのかどうか。

答：町内会へ加入していない人は文書配布嘱託員が直接配っている状況もあるので、すぐに一括交付金へ回して地域で自由に使っていただくと言うわけにはいかない。町内会へ同じように加入していただいて公平の中で運営ができるようなら一括交付金の方へ計上してもかまわないが、現状では時期尚早と思う。

問：PCB 廃棄物処理委託料については、学校関係は 1 年間で完了するのか、今後毎年計上されるのか。PCB は紛失等のトラブルが起こったという話もあった。積み残しやトラブルのないよう十分注意してほしい。

答：PCB 廃棄物処理委託料は、蛍光灯の安定器を処理するものであり法律により処理期限が定められている。処理場が九州にしかないため、県単位で順番が決められており、岡山県が平成 26 年になっているので、この機会にすべての PCB を処理する。PCB は現在 1 箇所まとめて保管しており、運搬は市の PCB と合わせて行うことにしている。積み残しのないよう注意する。

問：英語特区事業の財源は国県の助成と単市の割合はどうか。

また、英語特区の対象になった幼稚園、小学校、中学校の人の移動はどうなっているのか。さらに、年度の途中に入りたい人がいたらどうするのか。

答：英語特区の財源は、現在のところ国県補助は無い。全て単市である。2月に国の事業への申請をしたが認められるかどうか結果は分かっていない。

対象となる園や学校への転入・就園・就学の予定は幼稚園6名、小学校2名、中学校2名で計10名が英語特区へ入ろうとしている。年度途中でも受け入れる。

問：学校一括交付金は学校が自由に使えて良いということだが、事務が煩雑になって学校の負担が増えないのか。

答：事務が煩雑になる事実は否めない。校長等と何回も協議をしながら進めており、必要最低限に留めている。圧迫するとか学校へ押し付けるとかいうことにはなっていないと思っている。

問：コンサートを順次していくとのことだがどのような内容か。また、学校の順番はどうか。

答：倉敷作陽大学との協定事業であり、大学から数人の方に来ていただき本物を味あわせる。中学校は4校毎年行い、小学校は5校を3年で廻る。

問：就学援助費は基準を厳しくしていくことによって、就学援助を受けていた人が受けられなくなることは無いのか。

答：平成 25 年度は、生活保護の基準を取り入れたことによって受けられなくなった人はいた。平成 26 年度はこのようなケースをなくするために、前年度所得のみで判定をしていくこととした。基準を引き下げたことになる。

問：英語特区の財源の内の「その他 195 万円」は何か。また、英語特区で教育を受ける生徒数は何人か。

答：「その他」とは「ふるさと人材養成基金」である。幼稚園 2 園で 25 人、小学校 2 校で 131 人、中学校 1 校で 74 人となる。

問：放課後サポート事業はどこが対象なのか。

答：100%県の補助事業であり、地域の子どもに放課後、1～2 時間の範囲で学習支援をしてくれる人をお願いする。西中、昭和中、中央小、北小、東小、西小、神在小、秦小が対象である。

問：2つの給食調理場を1つにするという説明があった。今回、修繕費 1,500 万円を計上しているが新しい施設を建てるべきと思う。合併特例債を使うのだろうか今後の予定はどうなっているのか。本格的になれば、人員が不足するのではないか。

答：今候補地を見て廻っているが、効率を考えて1箇所に統合する。利便性も考えて土地を平成26年度中には選定したい。最終的完成は平成31年度までにはやらなくてはならない。具体的に始まると所長の片手間でやるわけには行かないので、人員については市長部局へお願いもしたい。

問：水辺の楽校は期間限定にしてもいいのではないか。寒いときには利用が無い。利用が無いときにも人件費をつぎ込むのはいかがか。年間委託でしかできないのか。

答：カヌーが中心ではあるが、多目的広場やグランドゴルフでたくさん来て頂いている。芝生の管理もあり経費は最低限のところで行っていただいている。今は年間で委託しており節減ができないか今後検討して行く。

問：総社芸術祭負担金550万円は準備段階で550万円必要なのか。本番になればもっと経費が必要になってくるのではないか。レベルが高いものにするにはお金がかかるのはわかるが、少し高いのではないか。

答：2年間で700万円で前回と同じである。今回は1年前に550万円を使うことにしている。当該年度ではPRするにも期間がないのでお金を使っても効果が無かったという反省があったので、前年度に準備経費、PR経費含めて550万円、当該年度は5月に実施するので150万円あればいけるという反省の上に立ってこのような予算配分をしている。

問：昭和公民館用地の大きさと場所を教えて欲しい。

答：地元要望や駅に近いということもあり、昭和出張所の北側を考えている。

問：体育施設の指定管理委託料は1億576万8千円つぎ込んで本当に市民が気持ちよく使えるものになっているのか。市の係わり等、金額に見合うだけのサポートや指導はできているのか。

答：以前総務文教委員会の方が視察に来られて、清掃等行き届いてないという指摘をいただいた。その後、毎月担当者がスポーツセンターへ出向きミーティングをしている。今後もさらに喜んでいただけるように努力していく。